



「金がねえ嫁  
もいねえが字  
は読める」(8/

26朝日川柳)とは、麻生首相が投票日の1週間前に学生との対話集会で話した事への風刺です。「結婚するだけのお

金がないから少  
子化が進むので

は?」との質問に「金がねえなら結婚しない方がいい、おれもそう思う…」と話した、と報じられています。首相という尊敬されるべき国の指導者の言葉としては、あまりにも粗暴

「民主に政権交代、景気への影響は?」「公共事業

…地方圧迫なら反発必至」と総選後の経済予測記事が、投票日前の新聞紙上に躍っていました。地元  
の中小建設業者にとっては確かに死活問題です。

民主党のマニフェストでは「1.3兆円の削減」を明示。「公共工事が更に減るのでは」との不安の声も聞かれます。この1.3兆円は毎年5%ずつの削減で達成する額ですが、小泉政権は5年間で2.2兆円削ったがその間の景気は回復基調。8/26の

傲れる者 庶民の抗議が 与党の大惨敗  
久しからず



公共事業が優先順位のシス!  
社会保障が優先順位を!

で悲しくなりました。また舛添厚労相は8/18の遊説中に「年越し派遣村に4千件の求人情報を提供したのに誰も応募しなかった…怠け者に税金は使わない」と発言。実際は100人以上が申し込んでおり、湯浅・元村

長らから「生活再建を目指して努力している方々への侮

辱だ!」と抗議されました。弱い者や貧しい者へ救いの手を差し伸べるのが国民の負託を受けた政治の役目だとすれば、今回の選挙の結果は

権力者への庶民の抗議だったのかも知れませんね。

朝日に野村証券・大和総研・明治安田生命等の民間シク

タクの予測が出ています。「民主党政権の経済対策で「最初は減速するが来年度は好転する」との判断。10、11年度は、自公政権の景気対策より景

気を押し上げる…との予測です。実際

どうなるかは分かりませんが、費用対効果の評価基準を明確にして、国民が税金の使い道である公共事業・医療・教育・介護…に優先順位を付

けられる仕組みが必要なのでは?



社会保険料(健康保険と厚生年金)が9月分(10月納付分)から上がります。給与計算時にご注意を!